

滝川氏城(小波田城)(名張市下小波田字下出)(運動場)

滝川一益の娘婿である滝川三郎兵衛が築いた。

滝川氏城は、四方を高さ約3mの土塁が囲む、三重県下最大級の単郭式城郭(郭・・・役割を持たせた城の単位)として貴重です。現在は運動場として利用され、ソフトボールなどでもできる広さです。

伊賀勢が柏原城で籠城し抵抗が続いていたため、この城は、前線で疲れた兵が休める駐屯地であったと思われます。そして、万が一前線が突破されても、柏原城方面からの攻撃があっても、見通しのよい平地で、大軍で迎え撃つことができる絶好の場所でありました。また、織田軍は、戦いの後も南伊賀の支配の拠点になるように大規模な城にしたと思われます。

名張市広報による

